

令和4年度 第2回明石市文化財保護審議会 会議要旨

日 時	令和5年2月20日(月)午後3時30分～午後5時
場 所	明石市立文化博物館 小展示室
出席者	明石市文化財保護審議会委員 4名(うち会長1名) 事務局 5名(市民生活局文化・スポーツ室)
配布物	・ 令和4年度第2回明石市文化財保護審議会次第 ・ 明石市指定有形文化財への指定について(諮問)(写) ・ 明石市指定有形文化財への指定について(答申)(案) ・ 明石市内指定・登録文化財一覧

1. 開会

2. 議事

(1) 指定文化財候補物件について(審議・答申案の検討)

事務局より資料に沿って説明

審議の結果、2件を指定し、1件は調査を継続する。

<主な意見>

【旧大久保本陣母屋】

- ・ 江戸時代の本陣の遺構は現在、この場所にしか残っておらず、保存する意味がある。
- ・ 建築の専門家から、上段の間などの現存している3部屋が江戸時代のままであると判断されれば、指定に値するのではないか。
- ・ 本陣が廃止されてから現在の場所に移された根拠、現在の間取りに改築された経緯をもう少し調査する必要があるのではないか。
→旧本陣の構造がどれほど残存しているかを調査し、現存箇所が指定に値するか再度審議する。

【弁財船(イサバ)模型】

- ・ 江戸時代の海運関係の史料として各地で模型を指定している。現物は残っていないため、模型が重要な史料となっている。
- ・ 同型の小型船模型はわかる範囲では、他には金刀比羅宮所蔵のもののみである。金刀比羅宮所蔵のものと比べて相対的に古い年代のものであり、彫り物などの装飾や構造が当時の小型船の特徴を表している。
- ・ このような小型船は主に荷物運搬船として使用されていたが、金比羅詣でも使用されていたと伝わっており、今後の調査では船主である二見の人たちの当時の産業構造なども解明されることが期待できる。
- ・ 瀬戸内海の小型船の活躍を伝える資料として、明石市文化財として指定する

意味は大きい。

【中崎公会堂】

- ・ これまで指定されていなかったことに驚いている。
- ・ 建設の経緯や設計者もわかっており、指定には異論はない。

(2) その他

事務局より指定について今後の流れを説明

3. 閉会